



～あすチャレ！スクール～

「あすチャレ！スクール」とは日本財団パラスポーツサポートセンター主催のパラアスリート講師たちによる教育プログラムです。本校では12月2日（火）2年生（神保康広講師）で開催しました。

初めに講師による車いすバスケットボールの競技用車いすの高度な扱い方や、車いすバスケットボールのプレーを実演していただきました。

その後、代表生徒が実際に車いすバスケットボールの試合を体験しました。見るのと実際にやるとでは大きく違い、自分の乗っている競技用車いすが思い通りに扱えなかったり、シュートが届かなかったりと苦戦していましたが、応援の生徒も含め 大変貴重な体験となりました。最後に講師の方からご講話を頂きました。

講話の内容について抜粋して紹介します。

- 私は小学生の頃に少年野球をはじめ、将来はプロ野球選手を目指して頑張っていた。中学生の時、野球の仲間と喧嘩して、素直に謝ることが出来ずに不良の道に走った。そしてバイクで大きな事故を起こし、背中の神経を傷つけ歩けなくなった。途方に暮れ、1年間自宅で引きこもりの生活を送った。その後、励ましてくれる友達のおかげでそこから抜け出しが出来た。その友達には今でも本当に感謝している。ある日、友達と一緒に車いすバスケットボールを見に行くことになった。最初はあまり気が乗らなかったが、行ってみると選手たちがとても楽しそうにプレーしていた。なによりプレーする選手たちの笑顔が良かった。

- 車いすバスケットボールと出会い「知ること」の大切さを知った。足が動かなくなったことで出来ないこともあるが、出来ることもたくさんあることを知った。

- 車いすバスケットボールと出会い、パラリンピック選手となりアメリカで日本人初の車いすプロバスケットボール選手になることが出来た。この経験の中で、まずは何でもやってみることが一番大事だと感じた。しかし、失敗への恐れや周囲から笑はれるのではないかと心にブレーキが掛かってしまうこともあった。しかし、メンタルサポーターの方にミラーの法則を教わり、自分が周りを応援することで前向きにポジティブに行動できるようになった。

- 現役引退後、パラスポーツ普及活動のためアフリカに行った。そこには体育館がなく、気温 40°C の屋外コートで車いすバスケットボールを教えなければならなかった。さらに、学校の授業では生徒たちは1冊の教科書を3~4人で共有しながら勉強をしていた。また、給食がないため昼食をとらずに勉強している状況を目の当たりにすると、日本は大変恵まれていることを痛感した。

- 仲間を応援して、自分も応援してもらう。たくさん友達を作ってチャレンジをしてほしい。



※ミラーの法則:世界や人はミラー(鏡)のように反射され、行いが自分に巡り巡って返ってくる事。

「生徒会小学校訪問」



11月21日（金）26日（水）に生徒会の生徒が市川小学校、中国分小学校、国府台小学校に行き、小学校6年生に対して一中の紹介を行いました。この訪問では小学生に中学校生活の良さを伝え、将来への見通しを持ってもらうため、生徒が企画・作成したパワーポイントスライドや動画を用いて一中を紹介しました。これを受けた小学生は小学校との違いに興味を示し、たくさん質問をする様子が見受けられました。小学生のみなさんに一中のことを知ってもらい、中学校生活の見通しを持ってもらう良い機会になりました。

「生徒会筑波大学附属聴覚特別支援学校の生徒会と交流」

12月5日（金）に筑波大学付属聴覚特別支援学校に行き、生徒会役員同士で交流を行いました。交流の内容はお互いの学校の紹介や学校見学などで、一中の生徒会役員からは、生徒が制作した本校の紹介動画を見ていただき、一中に関するクイズを行いました。筑波からは同じく動画で学校の紹介をしていただき、今日から使える「手話講座」をしていただきました。初めはお互いに少し緊張している様子が見られましたが、手話やジェスチャーを通じて気持ちを伝え合うことが出来ました。最後には校舎見学をして特別支援学校ならではの特色を知ることができました。



お知らせ：学校ホームページに学校生活の様子、給食献立、必要な連絡

等を掲載していきます。日々更新していきますので、是非ご覧ください。

